

目標達成計画

作成日: 2020年4月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
3	2	地域との交流があまり持てていない	地域と交流する機会を増やす。	地域の老人会などの集まりに顔を出し、交流を深める。	12ヶ月
2	1	利用者個々の行きたい場所を聞き出せていない。(引き出せていない)	個別外出の充実。理念の再度落とし込み。	個々の外出したい場所を把握し企画、調整を行い実行する。	12ヶ月
1	13	入居者の接遇について改善の余地がある。	職員のスキルアップ。	自己評価・自己の目標設定し目標達成に向けて取り組む。また一年間を通して内部研修を行い、研修を通じて認知症の理解を深め、接遇の改善に繋げる。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	入居者のレベルの低下、スタッフ人員不足に伴い、個々に合った支援が行えなくなっている。又スタッフ一人に対しての負担が大きくなってきている為、業務の見直しの必要性がある。	業務内容、介助方法の見直しを行い、負担の軽減ができる。	現状何に負担が掛かっているのか等を話し合い、業務内容の見直しを図っていく。又入居者の身体状態に応じた介助、支援の方向性をその都度話し合い、入居者の安心した生活が確保できるよう介助方法、支援内容の改善検討していく。	24ヶ月
2	1	定期的な理念のふり返りの必要性がある。	フロア理念をふり返り、スタッフへの周知徹底、共有し実践につなげていく。	フロアミーティングの際、理念をスタッフ同士、声に出し周知徹底図る。又実践できているか等を話し合う機会を設け、ふり返り、共有していく。	24ヶ月
3	29	地域との関りが少ない。	地域との関りのネットワークを広げる	運営推進委員会で情報を提供していただいたり、自治会や老人会でのイベントや近隣の公園等散歩に出かける他、地域の年中行事(だんじり含む)に参加し、地域の交流が図れるよう調整試みる	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。